

博士課程教育リーディングプログラム 事後評価現地調査実施要領（案）

平成〇〇年〇月〇日
博士課程教育リーディングプログラム委員会

1. 目的

現地調査は、博士課程教育リーディングプログラム委員会類型別審査・評価部会（以下「部会」という。）委員等が、必要に応じ、採択プログラムを実施する大学（以下「大学」という。）に赴き、プログラム参加学生（以下「学生」という。）を含む関係者との質疑応答及び教育現場・施設の視察等を行うことにより、当該プログラムにおける中間評価結果を踏まえた対応や当初の目的の達成に向けた取組の進捗状況等を確認し、評価に資することを目的とする。

2. 実施主体

実施主体は、部会とする。

3. 対象

書面評価結果を踏まえ、部会において現地調査が必要と判断された大学を対象とする。

4. 参加者

[実施者]

- ・部会委員を中心とする3～4名程度
- ・プログラムオフィサー（必要に応じて参加）

[大学]

- ・プログラム責任者
- ・プログラムコーディネーター及びプログラム担当者
- ・メンター及びインターンシップ受入れ機関の担当者（必要に応じて同席）
- ・修了者の就職先機関の関係者（必要に応じて同席）
- ・学生
- ・プログラム事務局（必要に応じて同席）

5. 実施方法

実施者は、書面評価に基づき事前に示す質問事項を中心に、中間評価結果を踏まえた対応や当初の目的の達成に向けた取組の進捗状況等についての説明を大学より受けるとともに、学生との意見交換及び教育現場・施設等の視察を行う。

6. 実施項目

- ① プログラムコーディネーター等からの説明・質疑応答
- ② プログラム担当者等からのヒアリング・質疑応答
- ③ 学生との意見交換
- ④ 教育現場・施設等の視察
- ⑤ その他、調査者が必要と判断する事項
- ⑥ 講評

スケジュール例

	事項	所要時間
13:00~13:30	打合せ（実施者のみ）	30分
13:30~14:30	プログラムコーディネーター等からの説明・質疑応答	60分
14:30~15:00	プログラム担当者等からのヒアリング・質疑応答	30分
15:00~16:00	学生との意見交換	60分
16:00~16:30	教育現場・施設等の視察	30分
16:30~16:45	打合せ（実施者のみ）	15分
16:45~17:00	講評	15分
17:00	終了	-

7. 実施後の対応

- ① 実施者の部会委員は、現地調査の結果をまとめ、別紙の報告書を作成の上、部会に報告する。
- ② 部会は、現地調査によっても明らかにならなかった点や新たに生じた不明点等がある場合には、必要に応じて大学に対して書面による事情聴取を行うことができる。

博士課程教育リーディングプログラム 事後評価現地調査報告書

担当委員：_____

機 関 名		整理番号	
プログラム名称			
プログラム責任者		プログラムコーディネーター	
<p>【報告事項】 現地調査により明らかになった点を『博士課程教育リーディングプログラム』評価要項における以下の評価項目に沿って記入してください。</p> <p>(ア) リーダーを養成するための学位プログラム、体制等の構築</p> <p>(イ) 修了者の成長とキャリアパスの構築</p> <p>(ウ) 事業の定着・発展</p> <p>【その他特記事項】</p> <p>【事後評価ヒアリングの際に確認を要する事項】</p>			